

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

●会長就任のご挨拶

新会長 細江 邦雄

新年あけましておめでとうございます。

会員各位、ご家族の皆さまとも昨年
の大震災を乗り越え、新しい年を迎え
られたこととお喜び申し上げます。

昨年11月の理事会において、次期担
当のM科から指名され、会長を引き受
けさせていただきました。つきまして
は、理事就任以来いろいろとお世話に

●退任のご挨拶

前会長 荒井 拓哉

日本中が大変な被害を受けた年が
行き、新しい年がスタートいたしました。
本年が良いことの多い年であることを
願ってやみません。

一昨年、前会長の大沼正道様から会
長の重責を引き継ぎ、あつと言う間に
2年が経ってしまいました。この度、
理事会の承認を得て、M科の細江邦雄

なつてきました津久井前事務局長さん

に、お見舞いをかねてご報告をしてき
ました。当日は、津久井さんの体調も

良く面会ができて、会長就任の件等を
報告がてら今後の築地工芸会のことを
話してきました。津久井さんからは、

前会長荒井氏と元会長のM科中山氏と
協力して、工芸会をより良い方向へし

つかりと運用してくれる様云われまし
た。今後は前会長が新しく組み上げて
きたシステムを継続しつつ、より充実
できるような努力していくつもりです。
大震災の後の経済状況が不確定だけ

様に会長を引き継いで頂きました。

私が会長をお引き受けして間もなく、
今まで築地工芸会の全てを背負ってこ
られた津久井先生がご病気になるられ、
いろいろとお教え頂く間もなく、入院
されてしまい途方にくれました。それ
でも歴史ある築地工芸会を何とか存続
させようと無我夢中で理事会を開催
し、会報を発行して参りました。何と
かそれが出来したのは、偏に理事の方
々をはじめとする皆様のご協力のお
かげです。この紙面をお借りして、厚

に、新たな問題も生じてくると思われ
ますが、今後も会員各位・役員さまの
協力をえながら、築地工芸会の継続と
発展のために私なりにできる限り努力
する所存です。よろしくお願いいたし
ます。
(昭41年M卒)

▼平成24年度の総会は5月です。

平成24年度の総会は、5月に開催
を予定しています。現在、日時・会
場・催し物・懇親会等を企画中です。
詳細は4月発行の「こうげい」でお
知らせします。

▼皆で総会に出席しましょう！

総会への出席をクラスメートに呼
び掛け、できるだけ多くの皆様で出
席して下さい。同時にクラス会を開
催してはいかがでしょう。

くお礼申し上げます。また、慣れない
ことが多く皆様に多々ご迷惑をお掛け
しましたことを心からお詫び申し上げ
ます。

今後は新会長が新しい築地工芸会を
創って下さることを信じていますが、
ご苦労も多々あることと存じます。ど
うぞ、新会長さんに、私にも増すご協
力を頂けますことをお願い申し上げます。

ありがとうございました。

(昭35年D卒)

あけましておめでとうございます

2012・1・1

(株)田中冷却器製作所
代表取締役

田 中 榮 一

(昭11・A卒)

関西工芸会 会長

藤 原 高 遠

(昭27・M卒)

中京工芸会 会長

下 山 田 信 一 郎

(昭23・M卒)

築地工芸会支部

関 西 工 芸 会

築地工芸会支部

中 京 工 芸 会

オーエヌオー・マネジメント 代表取締役 大野 慶一 (昭29・D卒)	中田製作所 築地工芸会 監事 中 田 実 (昭29・M卒)	(株)シグナム 相談役 大鳥 身吉 (昭29・M卒)	築地工芸会 監事 鈴木 慶一 (昭27・F卒)	(株)工画堂スタジオ名誉会長 谷 欣伍 (昭20・P卒)
(株)新 上 取締役会長 曾我部 上 (昭30・A卒)	頌 春 2012・1・1  撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)			(株)たき工房 (株)日本コマ・シヤルフ・オート (株)ワークアップ・たき (株)インバクト・たき (株)タクト (株)オックスデザイン (株)プラン (株)たきC1 (株)たきホールディングス 滝澤 方美 (昭29・D卒)
石原エディター事務所 石 原 義 久 (昭30・P卒)				(有)砂口製作所 代表取締役 砂 口 政 範 (昭30・M卒)
中京工芸会事務局 五反田 稔 (昭35・M卒)	築地工芸会 理事 荒井 拓哉 (昭35・D卒)	バキュームワールド工業(株) 代表取締役会長 北澤 隆 (昭33・F卒)	中山・保立特許事務所 弁理士 中山 清 (昭33・M卒)	(株)フォレスト 代表取締役 会長 茂木 益雄 (昭30・P卒)
(有)東新幸社 代表取締役 井上 正治 (昭42・A卒)	(株)マツキ 代表取締役 鈴木 輝彦 (昭41・M卒)	築地工芸会 会長 (有)ステーション・エム 代表取締役 細江 邦雄 (昭41・M卒)	(株)ソフケン 代表取締役 駒村 武夫 (昭40・D卒)	(有)中村印刷所 代表取締役 中村 輝雄 (昭38・P卒)

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年八月一日以降、十二月十三日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

佐藤勇、遠藤昇、田中稔、服部功、
栃木靖男、山賀多三男、湯沢宋江、中
代源次郎、後藤新太郎、佐未貫義、原
典生、岡田進治、鈴木保正、長壁洋、
西田篤生、浅井将治、仲村敏、西木誠
一、時田桂代、関根伸司、山田一彦、
恩田隆志、今野健三、矢ヶ崎敏和、酒
井寛、鈴木三郎、浅岡忠彦、水溜紫乃、
野本能義、小野塚均、田代友隆、牧野
昇、鈴木輝夫、東瀬野武雄、丸山士郎、
桂盛仁、池田修一、深野俊樹、橘正春、
松下治正、江澤信吾、森脇梢、高井芳
雄、平野佐和子、湯本憲司、福本信也、
山根あおい、山田幸継、大森昭二

平成23年度累計

四一三、一〇〇円

◆お知らせ

1. 平成24年の新年会はお休みです。
2. 皆様のご要望にお応えして、今号から会報のサイズをA4判にし、文字を大きくして、読み易さを図りました。

◆役員の改選について

平成23年度は役員改選の年に当たります。当番科はD科からM科となり、昨年11月10日の理事会で承認されました(任期2年)。

なお、今後、各科同窓会から新たに理事の推薦がある場合は、理事会の承認を得たうえで、会報「こうげい」でお知らせ致します。

平成24・25年度役員(敬称略)

会 長

細江 邦雄(M科・昭41)

副会長

高木 實(A科・昭48)

飯田 直弘(M科・昭49)

中丸 啓(FⅡI科・昭30)

石原 義久(PⅡG科・昭30)

梶 広幸(D科・昭44)

理 事

A(アートクラフト科)

安原 敏郎(昭18)、久米 清司(昭27)

曾我部 上(昭30)、大沼 正道(昭33)

杉本 勉(昭36)、井上 正治(昭42)

神山 隆夫(昭43)、堀越 敏晴(昭43)

大沼 千尋(昭45)、石井 正美(昭54)

高木家守子(昭54)

M(マシニングラフト科)

青柳 宏(昭23)、大鳥 身吉(昭29)

落合 忠(昭33)、中山 清(昭33)

松井 辰弘(昭34)、神戸 道夫(昭36)

脇嶋 邦雄(昭36)、鈴木 輝彦(昭41)

佐藤 浩久(昭56)
FⅡI(インテリア科)

森谷 延周(昭32)、工藤 精一(昭36)

加藤 博巳(昭39)、関 公宇(昭39)

斉藤 太郎(昭57)

PⅡG(グラフィックアーツ科)

虎谷 豊二(昭14)、谷 欣伍(昭20)

加藤 昭二(昭21)、建入 泰治(昭29)

茂木 益雄(昭30)、丸田順一郎(昭43)

大澤 正則(昭59)、高橋 政美(昭60)

D(デザイン科)

大野 慶一(昭29)、安藤 良子(昭34)

荒井 拓哉(昭35)、岩井 昌代(昭39)

清水 和男(昭40)、中山れいこ(昭41)

福田 哲夫(昭42)、清水 一忠(昭47)

久世 佳史(昭62)

地方支部

下山田信一郎(昭23M) 中京支部

藤原 高遠(昭27M) 関西支部

監 事

鈴木 慶一(昭27F)

中田 実(昭29M)

「投稿を歓迎します。」

＊皆様の個展・展覧会出品・受賞、新聞で紹介された等、ご活躍の様子をぜひお知らせ下さい。写真、案内状等もできるだけご提供下さい。

＊クラスの様子もお知らせ下さい。
●締切・原則として、2月末、7月末、10月末となっています。

郵送先・築地工芸会(工芸高校の住所)
メール送付先: taquya@nifty.com

あけましておめでとうございます

2012・1・1

関西工芸会事務局

丸山士郎
(昭43・A卒)

築地工芸会副会長

梶 広幸
(昭44・D卒)

(株)タカギ彫金工芸
代表取締役

高木 實
(昭48・A卒)

昭和17年第二本科卒

有志一同

昭和29年定時制M科卒

クラス会一同

M34 クラス友人誌

「曙光」の発行について

関川 孝 (昭34・M卒)

都立工芸高校を卒業して50数年、70に近づいた人生終盤に入ったある時、何か自分の人生を記録、保存してみようという誰でも考えることを思いつきました。

ついだから、自分一人ではなく、連絡の取れる同級生皆から原稿を出してもらい、友人誌として作ってみようと考えました。

幸い、パソコンを使えば文字と画像を組み合わせた冊子が比較的簡単にできるという時代です。あとは友人からどれだけ原稿が集まるか危惧するところでしたが、幸いこの提案にクラスの友人が大いに賛同し協力してくれたので、完成させることができました。出来上がって見ると、今まで知らなかったクラスの仲間たちがどんな人生をおくってきたのか、その一端がわかり、改めて同級生の仲間を再認識できることになりました。おれの先祖は藤原鎌足で城持ち大名だとか、発電所を作ったとか、ボルネオでラワン材の大量伐採をしたなど、人生いろいろです。水彩画、短歌などいいですね。

今回、第2号を発刊することになり、ここに紹介させていただきます。

体裁はA5版、一人あたりほぼA4で1ページ、A4両面印刷、中綴じで

作ってあります。

使ったソフトはExcel、PhotoStudio、EasyPhotoPrint、読取革命など。原稿の内容はまったく自由ですが誹謗中傷は載せません。大部分は自慢話です。なかには悲しい話もあります。ページには写真、絵(写真)を多く使っています。

友人誌は、自分と友人たちのためだけでなく、子供、孫たちが成長したときに見てもらえるという大きな意義があるので、皆さんもぜひ作られることをお勧めします。



「曙光」第2号



「曙光」卒業50年記念号

私の個展 10年

岩井 昌代 (昭39・D卒)

この10年程、年3、4回のペースで、丸の内パレスホテルギャラリーをホームグラウンドに、銀座、日比谷、青山等で個展を開催して来ました。例えば、日本のバブル経済終焉と同時に私の個展活動は始まり、市場経済の変遷を肌身を感じながらの10年でした。

昨年夏、新宿京王プラザホテルでの

34回目の個展を最終に、暫し休養の折、海外アートフェアへ誘われ、今年スイスのチューリッヒ、モントレー、バーゼル、上海、パリに出展しています。世界経済激動のさ中、海外市場への私の一歩はグローバルゼーションのいかなる体感を得られるか、興味ひくところ

「花」スイス バーゼル
ギャラリーブルーメインセール川本喜八郎氏 (昭16・F卒)
追悼公演行われる

平成22年8月に突然お亡くなりになった人形美術家、川本喜八郎氏の追悼公演「大型人形劇・三国志」が平成23年10月21日に、「めぐろパーシモンホール」大ホールに満員の観客を集めて上演されました。

この「三国志」は誕生して20年間、国内外で1600回を超える公演が行われ、観客動員200万人以上というロングランを現在も続けています。

この日は脚本を書かれたジェームス

三木氏や声の出演者も会場に駆け付け、ファイナレでは人形達が観客の間を回り、大ホールは感動の拍手がいつまでも鳴りやみませんでした。



追悼公演チラシ

信頼の
クリエイティブワークス
株式会社 シグナム

CREATIVE PRODUCTION
Signum

相談役
大鳥 身吉

160-0022 東京都 新宿区 新宿 2-3-12
グレイスビル 4F Tel. 3341-4976

デザイン／開発／設計／試作

久米工業デザイン研究所

久米 清司 全A4 (昭27)

〒175-0083 東京都板橋区徳丸6-2-7
TEL.03-3932-4593
FAX.03-3932-4593
E-mail:kumekys@yahoo.co.jp

原弘先生(大10・P卒)のコレクションが切っかけ

「武蔵野美術大学 美術館・図書館」が、

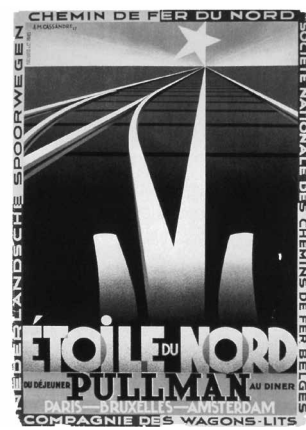
平成23年6月に誕生

日本のグラフィックデザインの近代化に大きな貢献をした原弘氏は、大正十年の府立工芸印刷科卒業年に母校の要請でひきつづき教員として大戦の始まる昭和十六年まで指導にたずさわっているが、昭和十年からは帝国美術学校(現・武蔵野美術大学)の講師も務め、戦後は昭和二十七年より四十五年まで教授を務めました。

グラフィックデザイン教育の参考資料としてムサビでポスターの収集が始まったのは昭和四十年ごろのことです。原先生は学生に対して「デザインとは、決して技術だけではない。あるいは表現だけの問題でもない。その背景に潜む思想や理念をしっかりと押さえて初めて成立する。そして社会性を持つものでなければならぬ。」ということとを常々話されていました。



①



②

美術館の中核となっているコレクションは、十九世紀以降の世界のポスター約3万点。椅子約350脚、その他に玩具、家電製品、レコードなどであり、開館を記念して平成23年6月から「WA...現代日本のデザインと調和の精神、世界が見た日本のプロダクト」と「ムサビのデザイン、コレクション」と教育でたどる「デザイン史」が開催されました。

数多い展示品の中から、ここでは原先生と工芸OBの作品を主に紹介しました。

①『『廣告界』第四巻、新年号、表紙デザイン、室田久良三。誠文堂刊(現・誠文堂新光社) 一九二六―一九四一年。



③



④

わが国における広告雑誌の草分け的な存在。扉には「『廣告藝術』の誕生」と題して初代編集長でグラフィックデザイナーの室田久良三(庫藏、大正八年、工芸木材工芸科卒)がラスキンの言葉「『廣告は民衆へ対する趣味の一般的レベルを高めるための藝術である』」を引用して、企業活動における商業広告の展開を祝って歓びを述べている。わが国での社会、経済、文化が開花する昭和モダニズムを予見させる斬新な広告やグラフィックデザインの始まりでもあった。

② 近代ポスターの路線を敷いた巨人、A. M. カッサンドルの代表作「北極星号」一九二七年。

③ 『FRONT』1・2「海軍号」東方社刊、一九四二年。

原弘先生は当時について「一九四一年、二十年にわたる府立工芸のつとめをやめることになった。岡田桑三氏が財界から基金を集め対外宣伝グラフ『FRONT』を出版する目的で、小石川に東方社を設立し、ぼくはその美術部長として入社したの

である。」と記している。

写真部長は木村伊兵衛氏。デザイナーには村田道紀、多川精一(共に昭和十六年工芸印刷科卒)両氏がいた。

④ 「日本タイポグラフィ展」原弘、日宣美術品ポスター、一九五九年。

⑤ 建築家でもあるマツキントツシユのハイ・バック・チェア。用をほとんど無視しながらも、垂直と水平の端的な構造がきわめて近代感覚。

⑥ 原弘教授によるムサビでの授業風景(一九六四年)

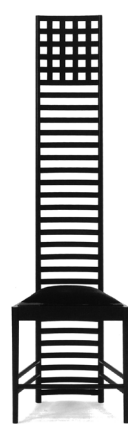
『図録 ムサビのデザイン、コレクション』と教育でたどる「デザイン史」発行：武蔵野美術大学 美術館 図書館、を主な資料としました。

注：印刷科(現、グラフィックアート科)、木材工芸科(現、インテリア科)

石原義久(昭30・P卒)



⑥



⑤

工芸で学んだこと

肥沼 孝明 (旧姓若尾)

(昭34・M卒)

工芸を卒業して入社したのがタイヤ会社でした。工芸では専門科目では、主に鉄鋼を中心とした、金属類の設計や加工といったことの勉強をしてきました。ところがタイヤの場合、材料の主体はゴムや繊維であり金属とはまったく異なり、伸び縮みの大きな材料を扱わなければなりません。またそれを加工する製造設備も、工作機械とは違って特殊なものでした。従って工芸で習ったそれらの専門知識はあまり役立つものはなかったと感じています。

しかし、力学や数学、物理といった学問や、機械を分解したり組立てたりという体験を通じて、なにごとにつけ細かく観察してものごとの本質やメカニズムといったことを追求していくことについては自然と培われていったのではないかと思っています。例えば製造工程において、モノを加工する際にバラツキというものが発生します。そのバラツキはなぜ発生するかを追求する場合、加工する機械と材料の動作をできるだけ細かく観察して、どのようにしてバラツキが発生していくのかを突き止めていくことです。それにはそれらの動きの観察をどのようにするかポイントで、厚み計やメジャー、カメラ、ビデオ、電力チャート等々、既

知の多くの観察方法を使ってその機械と材料の動きを分析してみる、それによって機械の動きのバラツキと材料のバラツキの相関がつかめ、加工された材料のバラツキのメカニズムを突き止めることにつなげていくことができた。このやり方で多くのバラツキを改善し、品質のレベルアップに結び付けてきたものです。

仕事を離れて6年、71歳になった現在は、毎日悠々自適の生活を送っています。在職中は、仕事に追われて趣味を楽しむ余裕はほとんどありませんでしたが、現在は、特に若いころ好きだったハワイアン音楽を楽しんでいます。ウクレレの演奏に夢中になっています。ウクレレの演奏に夢中になっています。ウクレレの演奏に夢中になっています。

音色をだすにはどうしたらよいかを追求していくことです。良い音色を出すには、良い音色が出た時とそうでないときの違いを見つけ出しバラツキを小さくしていくことだと思っています。いままでの私の観察結果から次のようなことが判ってきました。例えば、左手で弦を押さえますが、その位置はフレットから1.0mmの位置が最も良く響きます。これより内側で押さえると音に伸びが無くなっていきますし、外側で押さえると音がわれてきます。このことはフレット上の弦のフレットにかかるとは圧力や押さえた指とフレット上までの距離が、響きには大変重要だということが判りました。このようにして、

例えばコード（又は音階）を移すタイミングなどでも、細かく観察していくいろいろなことが判ってきます。そのようなことをしながら演奏テクニクが上がっていくことを楽しんでいます。

私は下手の横好きで他にもいろいろな趣味を持っています。この年では、体力や記憶力の低下などでなかなか上達するものではありませんが、このようないくつかの楽しみを取り組んでいくと、楽しさも一段と増すことができます。充実した日々を送っています。このような人生を送ることができているのも、工芸で学んだおかげだと思っています。



平成23年夏 地域の演奏会で活躍中の筆者（右から2人目）

中山・保立特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒164-0003
東京都中野区東中野2-2-3
ボーグビル3階
電話 03-5389-7112
FAX 03-5389-7135

広告制作会社 たきグループ



TAKI GROUP

株式会社 たき工房

本社 〒108-0023 東京都港区芝浦3-14-1 インパクトビル3F
TEL03-5484-6400(代) <http://www.taki.co.jp>

(株) たき工房
(株) インパクトたき
(株) 日本コマーシャルフォト
(株) ワークアップたき
(株) タクト
(株) Odds Design
(株) ブラン
(株) たきC1
(株) たきホールディングス
グループ創業者 滝澤方美 D3 (昭29)

支部だより

◆48回中京工芸会総会◆

名古屋祭りの真つただ中、10月16日(日)13時、名古屋料亭「大森」にて中京工芸会総会を開催しました。

本部からも神山先生がご来名頂きました。当会の出席者は10名でしたが、正に「老若男女」の集いでした。特に今年は井上京子さん(旧姓今泉 F50年卒)が東京転出したにも関わらず、出席して下さいました。今後の中京工芸会の名簿からは、消さなくてよいということ喜んでいきます。

総会が終わった後も有志では有りましたが、神山先生共々「カラオケ」で20時過ぎまで、楽しみました。これからは「節目の50回」の総会のこととも考



「第48回中京工芸会」総会

えたいと思います。

中京工芸会副会長

五反田 稔(昭35・M卒)

◆関西工芸会の集い◆

今年も例年どおり11月3日(文化の日)京都駅ビル内「塩小路 楽粋」にて『関西工芸会の集い』を開催しました。関西在住のOB6名のほか母校・築地工芸会から荒井会長、神山理事のお二人が参加して下さい、総勢8名にて歓談のひと時を楽しみました。

毎年定例の会合ですが、昭和10年代の方から平成卒の方まで、幅広い世代の会員同士が語らい、情報交換する場は「工芸」という共通項があればこそ大切なコミュニティです。これからも止まることなく、より多くの方が



平成23年「関西工芸会の集い」

楽しく参加される場であり続けたいと思います。

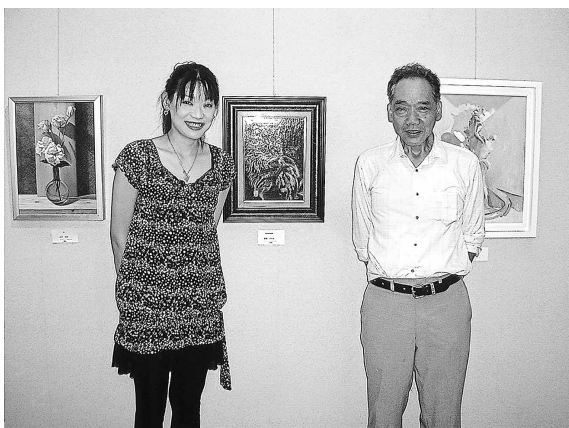
関西工芸会事務局

丸山 士郎(昭43・A卒)

娘と私

畔上八寿男(昭42・F卒)

新年を迎えると在奈良44年となる。関西は伝統と前衛が混在し面白い。京都タワーと五重の塔が共にあり、食も芸能も新旧、多彩で四季を通じて楽しめる。——私も娘も絵を描いているが、



娘・稲満すみよの絵の前で

3年前に娘は結婚し、主人と別棟にいる。毎日、顔を合わせるが絵のことで特に力を貸すこともない。東京の白日会に奈良風景が、運よく連続して入選している。

昨夏、私の学級担任であった岩田先

真空成膜法の一つスパッターを主に使用して半導体・FDP産業の分野で仕事をしています。主な製品は液晶用大型 blanks・PDP用大型 blanks と半導体用 blanks です。

クリーンサアフェイス技術株式会社

代表取締役 服部 功 全A12(昭35)

〈本社工場〉〒253-0113 神奈川県高座郡寒川町大曲3-20-29

TEL 0467-74-1935 FAX 0467-75-1131 URL: <http://www.cst-h.com>

〈江刺工場〉〒023-1101 岩手県奥州市江刺区岩谷堂字松長根30

TEL 0197-35-6636 FAX 0197-35-0968

生が、「岩田正全歌集」を出版され、電話をかけると先生は「続いているかい、絵を」と。昔、独立展に出品した私の絵を都美術館へ見に行ってくれました。米寿を迎えた今も奥様と歌誌「かりん」をながく発行されている。全歌集と前後し、第9歌集の「鴨鳴けり」をだされ、お元気です。継続は力なりと先生の声がする。娘も奈良の風景に向き合い、誠実に絵を描き続けられたい。

■ 校友活躍の一端 ■

次の方々の個展・出品等がありました。

◎ 個展

第4回 鑄る 戸津圭之介展

(昭和32・A卒)

—HIPPOPOTAMUS—II

銀座・ギャラリ

ームサシ



福本晴男展 (昭和35・F卒)

捨て木に生を刻む その2

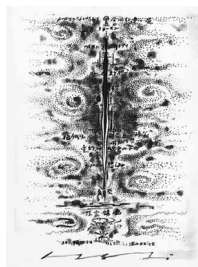
彫刻の道の現在—

隅田公園

リバーサ

イドギヤ

ラリー



おとなの工芸祭2011

〔東京都立工芸高校OB・OG展
示会&イベント〕

神楽坂ART GALLERY (ア

ートガレ) ギャラリー

●江連 誠 (昭和51・D卒) プロ

デューサー ●佐藤秀男 (昭和

51・D卒) グラフィックデザイン

●永井裕明 (昭和51・D卒)

◇ リポ ー ト ◇

アートディレクター ●飯嶋晶子

(昭和51・D卒) ドレスデコレ

ター・調理師 ●西山弥栄子 (昭

和51・D卒) 踊るヘルパー ●村

雲玲子 (昭和51・D卒) 踊るアロ

ハ歯科マネージャー ●金児剛夫

(昭和58・D卒) グラフィックデ

ザイナー ●菊地和浩 (昭和58・

D卒) 工業デザイナー・玩具デザ

イナー ●松原伸生 (昭和59・D

卒) 染色工芸家 ●大竹美樹 (昭和

59・D卒) フラワーアーティスト

●佐藤弥恵子 (昭和61・D卒) イ

ラストレーター ●瀧山幸代 (昭

和61・D卒) イラストレーター

●庄司美子 (昭和63・D卒) 都立

総合芸術高校教諭 ●帆足宗二郎

(昭和64・D卒) ディスプレイ請

負人? ●杉原由美子 (平成4・

D卒) CGデザイナー ●遠藤裕

美 (平成5・D卒) イラストレー

ター・グラ

フィックデ

ザイナー

●水沢あゆ

み (平成

6・D卒)

アートディ

レクター・

グラフィッ

クデザイナ



初日のオープンセレモニー

1 ●田仲晶子 (平成7・D卒)
デザイナー ●君島昌之 (元教諭)
東京純心女子大学客員教授

じゆく年! 〈古稀〉作品展

昭和34年都立工芸高等学校図案科を卒業し、古稀を迎えた同級生13名の作品展です。

西葛西・ネオユニット社展示室

●安藤良子 水彩画・抱き人形

●石田武史 年賀状によせて

●大里治男 世界ダンスカレンダー

●小泉由美子 裂き織り・半巾帯

●小林 博 子供神輿・般若心経

●櫻井明子 句集・歌集・エッセイ

●佐藤 守 子供向商品

●杉山哲三 花・昆虫

●竹村敬子 版画工芸

●戸塚憲吾 『my 塚』

●土方弘克 絵本・ロゴマーク集

●福田栄子 テキスタイル

●山田喜守 マイホーム



会場にて・土方氏、佐藤氏、小林氏

宝石・石止全般
株式会社 **タカギ彫金工芸**
代表取締役
高 木 実
(A・48卒)
〒111-0054 台東区鳥越 1-23-5
電話(03)3866-0961(代)

真空から高圧まで
配管部品
MAK
株式会社 **マキザキ**
本社 ●〒146-0082
東京都大田区池上3-22-20
TEL. 03-3752-2671 (代)
FAX. 03-3752-4017
工場 ●〒962-0402
福島県須賀川市仁井田大谷地311

ic用各種タイバーカッター
各種専用機 設計製作
(有)神戸自動機製作所
代表取締役 **神 戸 道 夫**
定M13 (昭36)
〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

■ 校友活躍の一端 ■

◎ 出品

第58回日本伝統工芸展

日本橋三越本店 本館7階ギャラリー

・染織

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

麻地長板中形着尺「菱入り斜格子」

・金工

田口 壽恒氏 (昭和34・A卒)

人間国宝

鍛腕銀舟形面取鉢

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

殿様蛙帯留金具

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

切嵌の花器「漲」

木村 太郎氏 (平成9・A卒)

鍛黄銅亀甲羅鉢

・木竹工

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

栃拭漆嵌装小箆筒「水光接天」

第43回日展

国立新美術館

・第四科 (工芸美術)

中村 昌子氏 (元・A科教員)

「風のふたり」

関 稔氏 (昭和25・A卒)

「旅先の出逢い011」

原 典生氏 (昭和33・A卒)

「都市の神話」

田中 照一氏 (昭和39・A卒)

「煌めく草原」

春山 文典氏 (昭和39・F卒)

「風の祭り」

尾澤 勇氏 (昭和57・A卒)

「龍 塊」

東京イラストレーターズ・ソサエティ

(TIS) 主催

「スマイル」展

銀座・クリエーションギャラリーG8

南 伸坊 (昭和42・D卒)

赤ちゃんにほえまれると、たいがいの大人はうれしいと思う。赤ちゃんは、まだ頭がそれほどはたらいっていないから、そのほ、えみは、おあいそや作り笑いじゃないと思うからだ。が、赤ちゃんがどう思っているかは、えみでいるのか、それはナゾである。何も考えてないかもしれない。ほとんどのオトナは、ほ、えみというのは、「気持のあらわれた笑い」であると思っている。だから、赤ちゃんのほ、えみを、とてもうれしがるのである。

(南 伸坊氏のコメントより)



武蔵野市民文化祭 美術展

武蔵野市民文化会館

長谷川 裕氏 (昭和30・D卒)



「月から写メール」

奈良県美術協会秋季小品展

アーツスペース上三奈

「木馬の詩」他2点

京都新聞チャリティ美術作品展

京都高島屋グランドホール

油彩「パリにて」「フクロウ」

大和高田市市展

大和高田市文化会館

油彩「月光不二」・塑造「鳥の詩」

畔上 八寿男氏 (昭和42・F卒)

- プレス標準金型 ●自動選別機
- クリーンパンチ ●精密治工具

株式会社

タクモス精機

取締役 相談役 川上 哲男
定M13 (昭36)

〒369-1211

埼玉県大里郡寄居町赤浜1174-3

TEL.048-582-2271

プラスチック
金型製作

真空成型型
プレス抜型

圧空成型型
トムソン抜型

企画
デザイン

— 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V-MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11

tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559

埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5

tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

— 詳しくはホームページで —

<http://www.v mold.co.jp/>

e-mail

caduser@vmold.co.jp

●プラスチック製品の

企画・開発・設計・製造

株式会社 **新 上**
シン ジョウ

取締役会長 曾我部 上
全A7 (昭30)

〒277-0814 千葉県柏市正連寺90

TEL.0471-33-0471 FAX.0471-33-0475

クラス会

●三十五機合（昭和20年本科M科卒）

この度の震災の影響で、延期して十一月二十一日開催となった平成二十三年度クラス会は、原宿の東郷神社境内にある「クラブ水交」（連続六回目）で行われました。出席は、新井 宏・蛭名省三・酒寄昇一・庭屋建二・堀井良夫・松本敏明・鈴木規尹の七名でした。ビール3本、ワイン2本とは、予想外の少量でしたが、話題は多摩川原のグライダー訓練から学校工場、江戸川農場作業にまで及び三時間近く、会話の絶えることがありませんでした。今日は大安吉日で、東郷神社で数組の結婚式が行われていました。このような慶事には縁遠くなりましたが、我々のクラス会を「長寿クラス会」の慶事



三十五機合（昭和20年本科M科卒）



辰巳会（昭和23・24年第二本科卒）



昭和23年本科M科卒忘年会



昭和50年全日制P科卒クラス会

として祝つてもよいのではないでしょうか。
（鈴木規尹）

●辰巳会（昭和23・24年第二本科卒）

今年は上野で9月9日に開きました。今年の出席者は、写真左から、青柳 宏（M科）、大谷義隆（P科）、田代智隆（M科）、高浜東洋（A科）、志田英雄（M科）、名倉祥一（M科）の6名でした。
（高浜東洋）

●昭和23年本科M科卒忘年会

昭和23年M科卒の忘年会を芝浦「牡丹」で開催しました。毎年恒例で、12月の第1月曜日に決めていますが、皆、81歳の高齢なので少ない人数になってしまいました。ちなみに卒業時の同級生は、40人でした。

（下山田信一郎）

●昭和50年全日制P科卒クラス会

平成23年9月3日 土曜日、水道橋工芸高校の目の前のビル。和食「えん」さんにて、11時半よりクラス会を、行いました。

台風が近づいており、朝から、はらはらしていたものの、どうにかのお天気になりました。今回は担任の吉村先生の77才の喜寿のお祝いを兼ねてのクラス会で、とてもたのしみにしておりました、先生も元気に参加して頂きまして、40年前の、やからにもどって、大さわぎ、大いに語り、大いに、のみあいました。

時間のたつのも、わすれるほです。次回は、先生の、80才のお祝いに、あつまることを、約束しておわかれしました。いつまでも、先生、お元気で!!
（菅野 敬子）

お詫び

「こうげいNo.153」の計報に掲載の芳賀義男氏の科・卒年・逝去日が間違っていました。ここに訂正して、深くお詫び申し上げます。

正しくは左記の通りです。

芳賀 義男氏 昭36・F卒（23・8・6）

訃報

前回の会報153号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。
（ ）内は逝去された日です。

橋本 幸男氏	元A科教師（23・10・23）
小郷 斌氏	昭12・P卒（23）
中村 清氏	昭13・二M卒
渡辺 敏男氏	昭14・A卒（23・7・2）
斎藤 浩氏	昭17・P卒（23・8・14）
岩崎 清氏	昭17・A卒（23・5・24）
中島 明生氏	昭20・P卒（23・4・11）
関口 雄康氏	昭21・M卒（23・11・5）
石川 涉氏	昭24・A卒（22・8・22）
河村 誠氏	昭25・M卒（23・10・22）
宮原 次郎氏	昭28・P卒（21・2・21）
溝口 丹吾氏	昭28・P卒（21・8・16）
清水 栄氏	昭28・P卒（22・12・18）
木野本克明氏	昭28・P卒（23・6・1）
森 浩治氏	昭28・P卒（23・8・20）
後藤 務氏	昭28・P卒（23・11・22）
中島 五郎氏	昭31・A卒（23・9・2）
土屋 茂氏	昭32・F卒（22・6・30）
安藤 嘉宏氏	昭33・P卒（23・6・18）
高村 克哉氏	昭34・F卒（23・7・15）
江澤 勝昭氏	昭38・P卒（23・11・26）
竹内 光氏	昭43・A卒（23・10・26）

母校だより 1

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

●平成23年度東京都明るい選挙ポスターコンクール

文京区最優秀賞 2年 大塚結生

●基礎製図検定合格 2年 20名

MACHINE CRAFT

●危険物取扱者乙種

第1類 合格 12名

第2類 合格 1名

第3類 合格 1名

第4類 合格 25名

第5類 合格 2名

第6類 合格 2名

●2級ボイラー技師合格

2年 櫻井太郎、佐々木彩、中島玲

香、長谷川要、緑川凌、皆川希

3年 北嶋勇斗、木村宗一郎、工藤隼己

●計算技術検定3級合格 1年 11名

●基礎製図検定合格 2年 26名

●色彩検定3級合格 1名

●漢字検定2級合格 1名

INTERIOR

●第4回ものデザインコンテスト

クラブ部門

最優秀賞 2年 岩崎史歩

優良賞 2年 神谷諒、青山はるか、

佐藤翔子、松葉七海、吉岡理士

インテリア部門

優秀賞 2年 神谷諒、

優良賞 3年 小野達哉、中村多美

子、荒川弘憲、21 荒井律香、岩崎

史歩

●第6回全国若者ものづくり競技大会

(木材加工職種)

3位 3年 片山聡美

●第4回高校生の建築フレッシュアイ

デアコンペ

文の部門

最優秀賞 2年 佐藤翔子

●第23回丹波の森ウッドクラフト展

ジュニアの部

準グランプリ (兵庫県知事賞)

3年 高橋泉

優秀賞 (丹波市議会議長賞)

3年 浅倉憩、阿部央歩、

●東京都建築系高校生作品展

ポスター部門

U・A 東京大会開催記念特別賞

3年 小寺美有、1年 関なつみ

CCC 東京特別賞

3年 細谷佳永、中村多美子

優秀賞 3年 荒川弘憲

佳作 3年 浅倉憩

製図部門

最優秀賞 3年 荒川弘憲

優秀賞 3年 小野達哉

家具部門

最優秀賞 3年 片山聡美

審査員特別賞 3年 日吉加奈

建設模型部門

審査員特別賞 3年 竹内大生

CCC 東京特別賞 3年 佐野賢司

佳作 3年 雨内日向子

●基礎製図検定合格 2年 28名

GRAPHIC ARTS

●第15回全国着物デザインコンクール

京都市長賞 3年 佐野ゆり香

全国染連合会賞 3年 会田美美子

金賞 3年 長谷川舞

銀賞 3年 後藤美由子

入選 3年 安齋歩、木村円香、矢

作恭子、溝口優希、高橋成穂、

●全日本山岳写真展 (高校生の部)

入選 2年 鈴木希咲、

●東京都教育の日 (標語部門、高校生

の部)

最優秀賞 1年 和田彩乃、

優秀賞 1年 松下明莉

●IPA情報セキュリティポスターコ

ンクール

韓国インターネット振興院賞

3年 石鍋未来

トレンドマイク口賞

3年 久保木菜摘

●川の写真コンクール

特別賞 1年 鶴岡若葉

努力賞 1年 小林花恋、2年 李

瑞希、新井詩織、3年 会田美美子

●道のある写真コンクール

銅賞 2年 西野茉莉花

努力賞 1年 井上真帆奈

3年 飛田智世

●SEITOFFotoコンテスト

特別審査員賞 2年 鈴木希咲

入選 1年 小林花恋

3年 木村円香

●ヤマザキ学園動物写真コンテスト

優秀賞 1年 東里香

入選 1年 曾田萌

●未成年者喫煙防止ポスターコンクール

最優秀賞 3年 居林未季

優秀賞 3年 伊藤有美

●全国高等学校総合体育大会シンボル

マーク

佳作 3年 仲三河諒

●第9回Tシャツデザインコンテスト

佳作 1年 小林花恋

特別賞 3年 木村円香

●第10回未成年者飲酒防止ポスターコ

ンクール

最優秀賞 2年 斉藤なつみ

優秀賞 3年 後藤美由子

佳作 3年 岩崎珠海、矢作恭子

母校だより2

●平成23年度8020運動ポスター

優秀賞 3年 岩崎珠海 岩崎珠海
入選 3年 小川由幸

●都電荒川線写真コンテスト

ファミリーの部 沿線名物店賞

1年 笹川あかり、3年 小川由幸

●2011デジタルアートグランプリ

中高生クラス静止画部門入選

3年 小川由幸、矢作恭子

DESIGN

●かわさき産業デザインコンペ2011

高校生部門

優秀賞 3年 南野麻由

アイデア賞 3年 大畑藍

奨励賞 3年 澤田柊子、関あゆみ

入賞 3年 川浦有稀

●日本書道美術院主催 第56回全国競書大会

全日本書道連盟賞 2年 江崎好絵

●平成23年度東京都明るい選挙ポスターコンクール

東京都優秀賞

2年 佐々木絵麻、呉鳳倫

1年 石居沙良、牧野玖美、

芳中早百合

●第62回東京都立高等学校定時制通信

制課程芸術祭展示部門

美術部門 銅賞 2年 志村聡

書道部門 銅賞 3年 小林直人
写真部門 銅賞 3年 中島千裕
3年 松岡牙

●東京建設系高校生作品コンペ

工芸部門

最優秀賞 4年 岡村理子、

審査員特別賞 4年 川本容子

優秀賞 4年 平松るい

佳作 4年 新垣裕子

ポスター部門

審査員特別賞 3年 松岡牙

●第20回パソコン利用技術検定合格

2年 遠藤紬生、景山友理、加藤菜、

策恵実、須田花菜美

●危険物取扱者乙4種合格

2年 坂口光、4年 橋本涼太郎

お詫び

No.153の母校だよりで、生徒氏名に誤りがありました。訂正してお詫びします。

MACHINE CRAFT ●計算技術検定

3級合格

(正) 2年 片平穂乃夏・長谷海里

(誤) 2年 片岡穂乃夏・長谷川海里

部活動報告(定時制)

剣道部

平成23年度東京都高等学校体育連盟

定時制通信制春季剣道大会

ベスト16全国大会強化選手選抜

3段 昇段 1G 仁藤悠大

●2011年度「工芸祭」

平成23年10月29日(土)～30日(日)母校において2011年度「工芸祭」が開催されました。2010年は悪天候に見舞われるというアクシデントがありましたが、2011年は天候にも恵まれ、ご父兄や工芸高校を目指す中学生の親子等、たくさんのお客様で賑わいました(来場者…5690名)。

●ポスター・DM

全3D・大橋いくみ

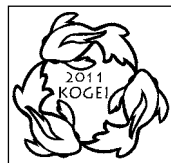
★プログラム

全3G・長谷川舞

★記念バッジ

全3G・宮本ゆうか

全3G・宮本ゆうか



●平成23年度 卒業制作展

●日時 平成24年

3月3日(土)～5日(月)

9:00～17:00

●場所 東京都中小企業振興公社

秋葉原庁舎

第1・第2展示室

(JR秋葉原駅 徒歩1分)

*皆様お誘い合わせのうえ、後輩の勉強の成果をどうぞご覧ください。

特別講演会

『モノのデザイン、コトのデザイン』

デザイン科OB講演会

平成23年12月9日(金)

都立工芸高等学校1F視聴覚ホール
講師…佐野 邦雄氏(昭和32・D卒)
デザイン科ではPTAのご協力の下、毎年期末考査後の時期にOB講演会を行っております。

この講演会は、デザイン現場の第一線で活躍されているOBをお招きし、在校生に対してデザインについての知識と意欲を深めることを目的としています。

今年度は現役のデザイナーとして活動されている
先輩の、佐野 邦雄氏に工芸時代から今日に至るまでのお話をいただきました。



講演会での佐野 邦雄氏

当日はデザイン科の1年生から3年生に加え保護者も何人か参加し、約130名が参加しました。

佐野さんの生き生きとしたお話に、生徒も私たちも元気をいただきました。

都立工芸高校デザイン科科长

川人 武